

酪農家各位

停電解消後の酪農技術対策について

平成30年9月7日
釧路農業改良普及センター

停電により、酪農においては特に搾乳作業は大きな影響を受けました。停電後の生産再開にあたっては、いくつか注意するポイントがあります。

1. 停電が解消したら
 - ・ 停電解消後、すべての電気機器が正常に作動しているかを確認する（特にバルククーラー・ミルカー、哺乳ロボット、換気扇、電牧柵）。
 - ・ 水道の配水も確認する。
 - ・ ミルカーは洗浄できていない時間が長かったので、パイプライン・ミルカー・バルククーラーを念入りに洗浄する。
2. 搾乳の前に
 - ・ 災害時には乳房炎治療牛を搾ってしまう危険性が高まる。抗生物質使用牛を一覧にし、搾乳者全員で確認する（担当者不在の場合は連絡簿を用意）。
 - ・ 搾乳回数が少ないと出荷制限期間を過ぎても抗生物質の反応がマイナスにならないことがある。出荷の判断には必ず検査を受け、確認してからとする。
 - ・ 環境性乳房炎に罹患しやすくなることから、牛床を清潔にする（敷料を多めにする・牛床用衛生資材を活用する）。
3. 搾乳にあたって
 - ・ 乳房炎確認のため、前搾りは必ず行う。凝固物等をPLテストで確認する。
 - ・ 環境性乳房炎を抑制するために、乳頭清拭はしっかり行うとともにディッピングは乳頭の根元まで浸漬する。
4. 乳牛のストレスをチェックする
 - ・ 乳牛は搾乳や給餌作業のずれによりストレスを受けている。食い込み状況や体調不良などの異常牛を確認し、速やかに獣医師の診療を受ける。
 - ・ 停電中に濃厚飼料の給与量を減らしていた場合は、徐々に給与量に戻す。低酸度二等乳やケトosis等の発生など、異常牛を必ずチェックする。
5. その他
 - ・ 停電中に発電機を使用した場合、ミルカーの作動が変調する場合がある。早めにミルカーの再点検を受ける。
 - ・ 乳房炎の多発など、乳牛のストレスが高まっていると思われる場合はセレンやビタミンC、Eなどの給与も検討する。